

ふるさととの学校

筈 相川千代治

明治五年に出された学制序文に表現されて
いる「邑ニ不学ノ戸ナク家ニ不学ノ人ナカラ
シメンコトヲ期ス」という国民皆学
の思想をうけて、いまの亀山
中学校学区に明治七年筈
小学校・高水小学校・滝原
小学校の三校が開校しまし
た。当時の学校は今日のよ
うなすばらしい校舎ではな
く寺・堂とか民家を借りて
教場にあてたようです。

たまたま、筈は筈小学校・文
淵ぶんえん小学校・竹たけ
世よ小学校へむかしの人は竹世校たけよ
とも言った。に
関係していましたので、
むかしをとりかえ
る意味で三校を中心に述
べてみたいと思いま
す。

◎明治七年に開校された筈・高水・滝原の三
校は明治十年に統合して亀山小学校となり、
坂畑の広太寺に校舎が建てられました。が、
校ハ依然タリ然レトモ亀山小学校附属小学校
トナル。と坂畑小学校沿革誌にあるとお
り筈

に学校が残されました。明治十一年に「地勢不便通学ノ難」を理由に笹小学校として独立しました。時を同じくして蔵玉小学校が誕生しました。明治二十年亀山小学校と笹小学校が統合して文測小学校となりましたが「而シテ笹校ハ名儀上ノ合併デ笹分校トシテ依然トシテ笹ニ置ク」。明治三十年笹分教場廃止、明治三十九年文測小学校廃校（校名変更が適切と思われます）竹世尋常小学校が誕生「本校ノ位置ヲ笹ニ移ス」。明治四十一年には折木

沢へ移ったようです。大正二年竹世尋常高等小学校となり同年亀山尋常高等小学校と改称され大正三年現在の亀山中学校、坂畑小学校の位置（坂畑萩原台）に新校舎が建てられて移転を今日にいたっています。時の村長宮野浅吉、学校長宮野新之輔はともに笹の人であつたのは偶然とはいえ「笹」と「学校」は縁の深かかつたことを物語っていると言えま

◎明治八年の試験表

しよ。

第二十一番中学区内第八十二番

笹小学校

合計三十九人 内卒業二十八人 不昇十一人

明治八年十月

右校 授業生 国友作藏

事務掛 宮野庄作

◎小学校経費の一部

明治九年一月小学校費出拂明細帳

第二十一番中学区内第八十二番笹小学校

。金六拾錢 備品 日本略史壹冊

。金壹圓拾錢六厘八毛 小買物

内訳金参拾錢 白墨、金拾八錢 筆、金

四錢八厘 半紙（以下略）

。金六圓也 教員・事務掛・役夫給料

。拾壹圓五拾錢宛 月々区内ヨリ集金

◎卒業証書

氏名

下等小学第五級 卒業候事

千葉県 笹小 学

明治八年十月

◎学資金（学校教育資金ともいふべきもの）

望陀郡尾山村 氏 名

明治十四年中公立笹小学校へ学資金

トシテ金拾九圓寄附致候ニ付爲其賞

木孟吉個下賜候事

明治十五年十二月四日

千葉県

学校は公立ではあつても經費は受益者負担

でありました。最初在学生の家庭から集金し

ましたが滞納が多かつたため設置者負担にな

り寄付金によつて賄われました。設置地域の

住民は学資金として応分の寄付をするわけだ

すが、その金額が直接經費として使われるわ

けではなく、その金を寄付者自身が借りて利

子を拂ひその利子を学校經費にあてました。

つまり学資金利子として納めたわけです。一

部には田畑を寄付して小作料を拂つたようだ

す。